

阿嘉島臨海研究所の3年間(1988-1990年)の動き

利用者と研究課題を中心に

1988年7月の阿嘉島臨海研究所開設より1990年12月までの利用者と主な訪問者(敬称略)は以下の通りであった。

1988年(昭和63年)

- 7月19日 阿嘉島臨海研究所開設
- 23日 都ホテル(東京)にて開設記念講演「海の生物の不思議な世界」W.M.Hammer(カリフォルニア大学ロサンゼルス校)
- 7月 「ヤコウガイ増殖のための基礎研究 産卵誘発」(~11月) 山口正士・小松 徹(琉球大学)
- 10月 「フジツボ類の生殖・発生に関する研究」(~11月) 雑賀 修(日本曹達)
- 11月 「アサヒガニの漁業生物学的調査」大森 信(理事)

年間を通じたその他の主な訪問者

大川節夫(朝日新聞社)、森 巧(海上保安庁)、大須賀かおる(スキングダイバー)、菊谷賢二(徳之島漁業協同組合)
石川進一(海洋科学技術センター)、元田 茂(評議員)、木崎甲子郎(評議員)、奥田慶一郎(科学技術庁)

1989年(昭和64年/平成元年)

- 1月 「ヤコウガイ増殖のための基礎研究 飼育管理」小松 徹(琉球大学)
- 「オニヒトデ分布調査」岡地 賢ほか(琉球大学)
- 2月 「サンゴ分布調査」(~3月) 山口正士・中村良太・岡地 賢ほか(琉球大学) C. Birkeland(グアム大学)
- 3月 「阿嘉島周辺海域海藻植生調査」大葉英雄(東京水産大学)
- 「プランクトンとフジツボ類の研究」雑賀 修(日本曹達)
- 「阿嘉島におけるタマガイ類の採集と観察」(~4月) 前田豊彦(東京水産大学)
- 4月 「阿嘉島周辺海域調査」(~5月) 高橋歩成・永井 登・鈴木雅久ほか(シーライオン)
- 5月 「棘皮動物の生態調査及びオニヒトデの発生観察」三浦正治(日本海洋生物研究所)
- 「シガテラ毒産出渦鞭毛藻の研究」石丸 隆・小池一彦ほか(東京水産大学)
- 「サンゴ礁研究・造礁サンゴ類の一斉産卵に関する基礎調査」(~9月) A.J.Heyward, P.L.Harrison(ジェームス・クック大学)
- 6月 「珊瑚礁域のアミ類の研究」村野正昭(東京水産大学)
- 「ハイビジョンによるサンゴの産卵撮影」ソニーPCL株式会社
- 7月 「黒潮沿岸におけるサンゴフジツボの種類と分布に関する研究」小川数也(千代田D&M)
- 「琉球地域の八放サンゴ類の分類学的研究」(~8月) 今原幸光(和歌山県水産課)
- 8月 「造礁サンゴ相の研究」西平守孝(琉球大学)・J.E.N.Veron(オーストラリア国立海洋研究所)
- 9月 「南西諸島におけるイカ類の生活史および分類学的研究」瀬川 進ほか(東京水産大学)
- 「阿嘉島周辺海域軟体動物目録作成」土屋光太郎(東京水産大学)
- 10月 「フジツボ類およびプランクトン調査」(~11月) 雑賀 修(日本曹達)
- 12月 「海産動物の生産する有用生理活性天然物に関する研究」鳥越浩一郎ほか(東北大学)
- 「琉球産フクロウニの個体発生と系統発生に関する研究」雨宮昭南・荒川絵美(東京大学)
- 「シガテラ毒産出渦鞭毛藻の分布」村野正昭・小池一彦ほか(東京水産大学)

年間を通じたその他の主な訪問者

小林りか(NHK)、畔柳昭雄(日本大学)

1990年(平成2年)

- 3月 「沖縄海域ザトウクジラ調査」L.Herman・B.Bays・D.Helweg・山本 悟(ハワイ大学)
「テングハギ属魚類幼期の分類」荒井 寛ほか(葛西臨海水族館)
- 5月 「阿嘉島周辺海域の軟体動物相」¹波部忠重(評議員)
「クサビライシ調査」²(~6月)M.R.Claereboudt(海洋科学技術センター)
「サンゴ礁研究・造礁サンゴの有性生殖と着生基盤に関する研究」(~7月)大森 信(理事)、王文樵ほか(東京水産大学)
- 6月 「サンゴ産卵撮影」大田武夫ほか(フジテレビ)
「底層性の動植物プランクトン調査」村野正昭ほか(東京水産大学)
「サンゴ礁魚類の稚魚・幼魚の研究」益田 一ほか(益田海洋プロダクション)
「サンゴ礁研究・造礁サンゴの有性生殖に関する研究」柿沼好子ほか(鹿児島大学)
- 7月 「日本産サンゴフジツボ類の再検討」小川数也(千代田D&M)
「サンゴの生態研究」山内 寛ほか(間組技術研究所)
「造礁サンゴの産卵生態および卵成分の研究」池田 穰ほか(海洋バイオテクノロジー研究所)和田直己ほか(大成建設生物工学研究所)
「座間味サンゴ礁の組成比較」横井謙典(ブルートライ)
「阿嘉島海底地形と生物相」小池一彦・佐藤香苗(東京水産大学)
- 8月 「阿嘉島周辺海域の軟体動物相」奥谷喬司ほか(東京水産大学)
「サンゴ礁研究・造礁サンゴの有性生殖に関する研究」柿沼好子ほか(鹿児島大学)
「サンゴ礁魚類幼魚の分類と生態」益田 一ほか(益田海洋プロダクション)
「サンゴ礁域のカイメン類分布調査」(~9月)C.Wilkinson(オーストラリア国立海洋研究所)
- 9月 「サンゴ礁域の近底層プランクトンの分類・生態学的研究」J.Greenwood(クイーンズランド大学)
「阿嘉島周辺海域海藻植生調査」大葉英雄(東京水産大学)
「慶良間列島海域におけるヒトデ類の分類・生態学的研究」藤田敏彦(東大海洋研究所)
「阿嘉島周辺海域軟体動物目録作成」土屋光太郎(東京水産大学)
- 10月 「クロフジツボ類の繁殖期調査」(~11月)雑賀 修(日本曹達)

年間を通じたその他の主な訪問者

元田 茂(評議員)、木崎甲子郎(評議員)、掘 武昭(米日財団)、原 眞(高山研究所)、前川 晶(国際協力事業団)、工藤君明(海洋科学技術センター)

1は10頁に掲載 2は20頁に掲載